

## 県内の米生産におけるチェックリストを活用した取り組み状況

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

平成22年4月、農林水産省が「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」を公表した。この中で食品安全や環境保全等を目的とした取組事項が示され、この内容に沿った取り組みが生産現場には期待されている。宮城県でもGAPを推進しているが、現場になかなか浸透していない状況である。しかしながら、県内で推進されている「環境保全米」の認証条件として取り入れられている「チェックリスト」\*の記入・提出が、JA米の集荷時にも採用されている動きが見られることから、各農協の取り組みや実施状況を調査した結果、GAPの推進に有益な情報が得られたので、参考資料とする。

\*適正な農作業や農薬の取扱いを行ったか等を項目に沿って自ら確認するシート

### 2 参考資料

#### 1) 取り組みの契機

平成20年度に多くの農協が導入しているが、一番早く始まった農協では平成17年度から取り組んでいる。導入のきっかけは、「取引先のバイヤーや卸業者に勧められて」という回答が多かった（表1）。この取り組みが広まった要因として考えられるのは、宮城県で広く普及している「環境保全米」の認証条件である「チェックリストの確認、記入」が挙げられる。これによりJAの稲作指導員の間では以前から理解が進んでいたこと、さらには取引先からの勧めも後押しとなってチェックリストの導入を全出荷農家へ拡大していったと考えられる。

#### 2) チェックリストの作成、使用方法

参考にしたGAP等は、「全農で作成されたチェックリスト」を参考に各農協がそれぞれ作成したものがもっとも多く、その他としては「JGAP」や「グローバルGAP」等があげられる（表2）。チェックリストの記入及び提出率を上げるための工夫として「農薬使用記録（トレーサビリティ）」「（出荷）協定書」「チェックリスト」を小冊子にまとめた農協や、適切な農作業であるか確認する頻度をあげるため、チェックリストの提出を前期と後期に分けて提出させる農協がある。米生産者は、以前から農薬の使用記録について農協の指導を受け「記録の記帳・提出」は当然視してきているので、トレーサビリティと一体化した様式であると提出率が上がるようである。様式の工夫しただけでは提出率又は回収に係る労力も省略できる。

#### 3) 導入効果

ほとんどが導入して年数が浅いため、導入効果は「分からない」とした農協がほとんどだったが、17年度に導入した農協では、「生産者が農薬の扱いや異物混入に以前より気をつけるようになった」「事故発生後の初動が確実に早くなった」等の効果を実感している。

#### 4) 導入に際する留意点

導入後に発生する問題として、チェックリストの記入に関する説明や回収等の労力がかかるということで「営農指導員の業務の増加」が挙げられた。また、農協に係る負担として、関係書類の印刷や配布資料を用意するための「農協の経費増大（印刷代など）」が多かった。また、これらを価格転嫁することは困難な状況がある（表3）。

### 3 利活用の留意点

調査対象は宮城県内で米を集出荷している14農協のうち「環境保全米」の作付け面積が100ha以上ある12農協の米穀課又は営農指導部署の担当職員を対象に聞き取り調査を行った。

その12農協のうち、JA米出荷者へ各農協が作成した「チェックリスト」への記入と提出を求めているものが10農協であった。

(問い合わせ先：農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8120)

### 4 背景となった主要な試験研究

#### 1) 研究課題名及び研究期間

GAPの定着に向けた要因の解明（平成21年～22年）

#### 2) 参考データ

表1 チェックリストに取り組んだきっかけ

【項目】	回答数
バイヤーの勧め(強制ではない)	5
社会的な流れとして	2
販売面でのアピールのひとつとして	2
環境保全米の取り組みを参考に	1
農薬による事故が以前発生したので	1
県、中央会の勧め	1
農家に慣れてもらいたい	1
自己点検のために	1

(複数回答あり、JA米出荷者へチェックリスト提出要求する農協対象)

表2 チェックリスト作成に参考にしたもの

【項目】	回答数
全農で作成したチェックリスト	5
JGAP	3
グローバルGAP	2
その他資料	2
県GAP	1

(複数回答あり、JA米出荷者へチェックリスト提出要求する農協対象)

表3 チェックリスト導入後の問題点

【項目】	回答数
営農指導員の業務の増加	5
チェックリスト提出率の向上	4
農協の経費増大(印刷代など)	4
生産者のGAP理解不足	3
農協役員の理解不足	2
点検項目に応じた施設の改善にかかる経費(生産者)	2
生産者が意欲をもって取り組むためにはどうしたらいいか(メリット)	1
消費者へのPR方法をどうしたらいいか	1
改善項目の向上	1

(複数回答あり、JA米出荷者へチェックリスト提出要求する農協対象)

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし